

長崎大学アドミッションセンターの 取組と課題について

長崎大学アドミッションセンター 吉村 宰

1. はじめに

大学入試センターから、長崎大学アドミッションセンターの取組と課題を大学入試フォーラム誌上で紹介して欲しいと依頼があった。貴重な機会をご提供いただいたことに感謝しながらこれを引き受けた。ところが本学アドミッションセンターには是非広く知ってもらいたいと思うような大々的な取組はこれといってない。本学アドミッションセンターでの取組は、中期目標を達成すべく設定された中期計画・年度計画に沿って実施される地味な活動ばかりである。しかしこうした事情は多くの大学で共通だろうし、たとえ地味な取組でも参考になることもあるだろうと考え、本学アドミッションセンターの取組を紹介するとともに今後の課題を指摘することにする。

以下本稿では、まずアドミッションセンターの役割と位置づけ、業務、実施体制についてアドミッションセンター規則及び本学中期目標・中期計画の観点からそれぞれ述べ、次に特に今年度の活動に焦点を当てアドミッション

センターの取組を紹介する。最後に本学アドミッションセンターを取り巻く課題を指摘する。

なお本稿の内容は客観的な事実を記述した箇所を除き著者の個人的な見解に基づくものであり、長崎大学アドミッションセンターとしての公式見解ではないことにご留意頂きたい。

2. アドミッションセンターの概要

2.1 位置づけと役割

長崎大学アドミッションセンターは、平成14年4月「長崎大学の学内共同教育研究施設として、入学者選抜に関わる調査及び研究を行うとともに、アドミッションオフィス入試（以下「AO入試」という。）の実施等を行うことを目的」（長崎大学アドミッションセンター規則）として設立された。

2.2 組織と業務

アドミッションセンター規則では、アドミッションセンターには研究企画部門、実施部門の二つの部門が置かれ

それぞれ次のような業務を行うこととされている。

研究企画部門

- (1) 入学者選抜方法等に係る調査及び研究に関すること。
- (2) 入学者選抜結果の分析及びその評価に関すること。
- (3) 入学者の学業成績の追跡調査に関すること。
- (4) その他入学者選抜に係る調査及び研究に関すること。

実施部門

- (1) AO入試の実施の企画及び立案に関すること。
- (2) AO入試に係る学生募集要項、入学案内及び広報誌の作成に関すること。
- (3) 大学説明会の企画及び立案並びに実施に関すること。
- (4) 高等学校等訪問による進学相談に関すること。
- (5) その他AO入試に関すること。

なお、規則上は上述したように部門それぞれに異なる業務が定められているが、実際には業務遂行にあたっての部門の区別はない。またアドミッションセンターの業務は、規則上は上記のとおりであるが、学内ではAO入試を実施するための組織であると認識されることが多く、十分にその役割を理解

されているとは言えない現状がある。

2.3 センター運営・業務実施体制

現在アドミッションセンターはセンター長、専任教員3名、兼務教員12名の計16名（センター発足時の兼務教員は4名であった）の体制で業務の遂行にあたっている。兼務教員の任期は2年であるが、再任は妨げられない。

アドミッションセンターの運営は、兼務を含むアドミッションセンター所属教員に各部局の入試委員長、学生支援部長、及びその他学長が必要と認めた者（具体的には入学者選抜委員会委員長）を加えたメンバーで構成されるアドミッションセンター運営委員会が行なっている。運営委員会は主として年度計画及び予算案の審議を行う。

3. 中期目標・中期計画に係わるアドミッションセンター業務

国立大学法人は中期目標とそれを達成するための中期計画を自ら定め、その達成度によって定期的に評価を受けることになっていることは周知のとおりである。

先に紹介した「規則」を踏まえると、本学中期目標のうちアドミッションセンターとの関連が特に深いものは次の2点である。

・本学の理念を踏まえ、各学部・研究科が求める学生像（アドミッシ

ン・ポリシー)を明確にするとともに入試情報を含めこれを積極的に公表する。

・適正な入学定員の検討を行うとともに様々な能力、資質、適性等を多元的に評価するための入試の多様化を含む適切な選抜方法の改善に努める。

この中期目標を達成すべく策定された中期計画は以下のとおりである。

・本学の全ての入学者選抜に共通するアドミッション・ポリシーを公表・周知する。

・平成14年度に発足したアドミッションセンターの機能と役割を明確にし、入学者選抜に関する諸課題に対応する先導・支援組織として確立する。

・各学部のアドミッション・ポリシーを公表・周知する。

・入学定員の適正さを点検し、入学者選抜方式(AO入試、推薦入試、編入学など)と選抜方法(学力検査、面接、小論文・課題論文、実技検査など)について定期的な見直しを行うために、入学者選抜の結果の分析と評価を行う。

・平成15年度より導入された高等学校学習指導要領による受験者に対して適切な個別学力検査が実施できるよう、高等学校のカリキュラムの調査と分析・研究を行う。

・オープンキャンパス、出前講座、高校生のための公開講座、ガイダンスセミナー、進学説明会等による適切な高大連携を検討し、そのための教員組織体制を整備する。

・ペーパーテストでは測定不可能な広い意味での学力・能力を測るための選抜技法の開発研究を行い、その運用方法を確立する。

・入学者選抜方式・選抜方法の適切さを評価するために、入学から卒業までの学生の修学状況、卒業後の進路状況、社会における貢献度について追跡調査を行う。また、そのためのデータベースを新たに設計・構築する。

これら中期計画の実施がアドミッションセンターのミッションであると明示されているわけではない。しかし「規則」に規定されている業務と照らし合わせると、この計画の実施に際して中心的役割を担うことがアドミッションセンターに期待されていることは間違いない。

このような認識からアドミッションセンターでは、特に今年度から中期計画に基づく年度計画の遂行と密接に結びつけた形での業務計画の策定を行っている。

4. 平成18年度の主な取組

4.1 平成18年度長崎大学年度計画とそれに対応した取組

平成18年度の年度計画のうちアドミッションセンターが担うべきものとそれに対応した取組をそれぞれ紹介する(下線が年度計画、字下げ部分がこれに対応する取組である)。

・アドミッションセンターの機能と役割を明確にするための検討を継続して行う。

●アドミッションセンター運営委員会内にワーキンググループを設置し検討を開始した。

・アドミッションセンターの兼務教員の役割を明確にするとともに、兼務教員を対象とした研修会を実施する。

●年度初めに兼務教員を対象とした研修会を開催し、アドミッションセンター業務の説明、兼務教員に期待されている役割等についての説明を行った。

・平成21年度以降の入学者選抜方式について検討を行う。

●過去の入試データの分析を行い、知見を整理して提言を行うことを予定している。具体的には平成16～18年度一般選抜における総合成績データの分析、平成18年度一般選抜個別学力検査の大問別の試験問題分析に取り組んでいる。

・高等学校のカリキュラム及び教科書の分析と調査・研究に基づき、適切な個別学力検査の実施に努める。

●長崎県内高等学校の教育課程についての情報を収集し、教育課程変更前後の違いとその特徴の動向の把握に取り組んでいる。

・ペーパーテストでは測定不可能な広い意味での学力・能力を測るための選抜方法の開発研究を引き続き遂行する。

●平成18年度第1回アドミッションセンター研究会を開催した。

●AO入試における書類選考の信頼性や選抜への寄与に関する分析を行った。

・入学者選抜方式・選抜方法の適切さを評価するため、入学から卒業までの学生の修学状況、卒業後の進路状況について追跡調査をするシステムを導入する。

●今年度新規に導入される全学共通学務システムが有する種々の学籍データ及び学務データと利用可能な入試データから追跡調査の在り方とそのために必要なデータを検討し追跡調査のための基礎を整えることに取り組んでいる。

・アドミッションセンターにおいてAO入試説明会等を充実させるための方策を検討する。

●長崎市、佐世保市、福岡市におい

てAO入試説明会を開催した。

- AO入試説明のための高校訪問を行っている（9/30現在で41校）。
- ・標準的な入試広報コンテンツを作成し、これを用いた広報活動を積極的に行う。
- 進学説明会等で利用すること目的とした標準的な入試広報コンテンツを作成するための検討を行っている。
- ・アドミッションセンター兼務教員を対象とした試行的なFDプログラムを実施する。
- 平成18年度第1回アドミッションセンター研究会の中で試行的FDプログラムとして「入試研究の基礎」と題したセミナーを行った。

4.2 その他の取組

宣伝・広告活動

アドミッションセンターでは昨年度から宣伝・広告活動を始めており今年度も以下を実施している。

- 福岡市営地下鉄への中吊り広告
- 長崎電鉄（長崎市内路面電車）車内ポスター広告
- 長崎バス車内ポスター広告
- 進学情報雑誌への広告の掲載

進学相談会・入試説明会

アドミッションセンターではAO入

試に限らず入試全体の広報に取組んでいる。前に挙げたAO入試説明会の開催や高校訪問以外にも以下の活動を行っている（9/30現在）。

- 進学相談会・入試説明会（業者主催）への参加：九州地区を中心に39ヶ所
 - 九州地区国立大学進学相談会（九州地区各国立大学オープンキャンパス内に進学相談会会場が設けられる）への参加：8会場
 - 九州地区国立大学合同説明会への参加：東京、大阪、北九州、福岡の4会場
- なお3点目の取組は長崎大学単独ではなく九州地区の国立大学合同の取組である。

この他にもオープンキャンパス参加者を対象としたアンケートを実施することで、入試広報に関する情報取得を行っている。

5. 課題

本学中期計画に「アドミッションセンターの機能と役割を明確にし、入学選抜に関する諸課題に対応する先導・支援組織として確立する」という文言がある。このことは、アドミッションセンターの機能と役割が現在まだ明確になっていないことを意味する。なぜ機能と役割が明確になっていないのか。これはアドミッションセンター

の組織上の位置づけが不明瞭であることに起因すると考えられる。

例えば、本学では「入学者の選抜に関する基本方針等を企画し、及び審議するため」に入学選抜委員会が置かれている。この委員会にはさらに専門的な調査・検討のための2つの専門部会—入学選抜方法研究専門部会、分析・評価専門部会—が置かれている。この両部会が行うべきことは「規則」に定められているアドミッションセンターの業務とほぼ重複している。

また、本学ではアドミッションセンターはAO入試の実施のための機関であるという認識が強い、実際の規則上は、AO入試の実施は「AO入試実施学部別部会」という別組織の業務となっている。このように、本学にはアドミッションセンターに期待される機能と役割を担う別の組織がアドミッショ

ンセンターと併存しているという状況がある。

アドミッションセンターの機能と役割を明確にし、入学選抜に関する先導的支援組織として確立するためには、前述の状況を改善しアドミッションセンターの組織上の位置づけを明確にすることが不可欠であると考ええる。

以上は大学としての課題であるが、アドミッションセンターとしては今後も入学選抜に関する諸課題に対応する先導的な組織であるべく様々な活動に取組む必要がある。特に、アドミッションポリシーを文言として示すだけでなく、入試広報活動や入学選抜方式・方法そのものにアドミッションポリシーが明確に示されることを目指す一貫した視点での取組が重要となると考える。